

## 第5回名古屋大学神経回路国際シンポジウム/ GFP 発見の展開と展望

開催期間：2019年3月18日、19日

開催場所：名古屋大学坂田・平田ホール

### 【活動報告】

平成31年3月18日と19日の2日間にわたって、坂田・平田ホールにて「第5回名古屋大学神経回路国際シンポジウム A Decade after “Discovery and Development of GFP”: Expansion and Expectation (邦題：GFP 発見の展開と展望)」が行われました。本シンポジウムは、平成30年10月にご逝去された下村脩先生（名古屋大学特別教授）による緑色蛍光タンパク質(GFP)の発見に端を発し、現代生物学に必要不可欠となっている、光タンパク質や光感受性タンパク質を用いた研究の最前線について情報交換するために企画されました。

シンポジウムはまず、2008年に下村先生とノーベル賞を共同受賞され、下村先生と家族ぐるみの親交のあったMartin Chalfie コロンビア大学教授による基調講演から始まりました。下村先生の、科学に対する姿勢のあらわれたエピソードやお言葉の紹介から始められ、偉大な先達を偲びつつ、後進たる我々を鼓舞されるような、心温まる会の始まりとなりました。Chalfie 教授の基調講演に続いて、Robert Waterston ワシントン大学教授ら、世界的に著名な研究者や、新進気鋭の若手研究者ら8名にご講演いただきました。質疑応答では始終白熱した議論が展開され、活気あふれる実り多い会となりました。

